



学校だより

令和8年4月24日発行
北海道帯広養護学校
令和8年度 第1号
(通巻221号)

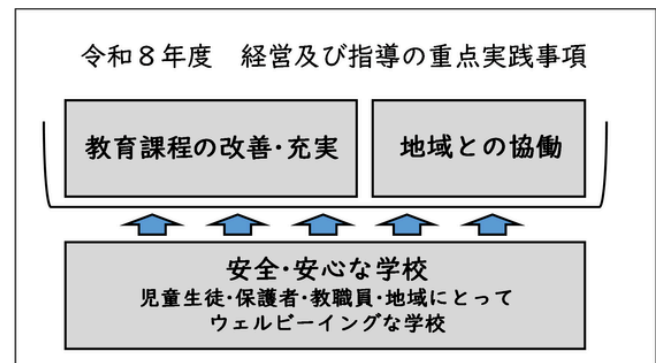
「児童生徒の自己肯定感を育む」

北海道帯広養護学校長 鈴木 隆 宏

令和8年度の教育活動が4月8日からスタートしました。今年度は、小学部12名、中学部15名、高等部24名の児童生徒が新一年生として各学部に入學し、全校生徒は総勢212名となっています。前年の4月に比べると14名の減となりましたが、学級数は50学級、教職員数は148名と、依然として道内の特別支援学校でトップの大規模校です。校舎の狭隘化など大規模校ならではの課題はありますが、引き続き、児童生徒の不利益にならないように学習内容や学習場所、時間割などを工夫しながら、教育の質の確保に努めたいと思っております。

さて、4月1日付けで本校の学校経営方針を令和8年度版にリニューアルし、重点教育目標を「学習規律を大切に、将来の自立や社会参加に生きる力を育み、自己肯定感を高める教育を推進する」に変更しました。本校では、自己肯定感を「自分を好きになること」と捉え、自分自信を認め好きになることが他者に優しくしたり自ら主体的に行動したりすることにつながると考えました。自分を好きになることは、コミュニケーション力の向上や新たな活動への挑戦意欲と自信につながります。自己肯定感の向上をテーマに、仲間を大切に、自信をもって学習に取り組める児童生徒の育成を目指します。

また、このことに加え、重点実践事項も少し変更しており、昨年度の4つから「①安全・安心な学校、②教育課程の改善・充実、③地域との協働」の3つに集約しました。これまで4つめの項目としていた「働き方改革」を「①安全・安心な学校」に含むこととし、児童生徒の人権尊重や安全教育の推進と共に、教職員が安心して働ける職場づくりも「安全・安心な学校」の一つとして整理しました。この「安全・安心な学校」を学校経営の基盤（下支え）にして、より教育内容を充実させ、地域資源を生かした学習（地域貢献など）にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。3つに集約した重点実践事項の着実な実践に努めます。



結びになりますが、本校の学校教育目標である「明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる」の実現に向けて、教職員が一丸となって、児童生徒の自己肯定感を育む教育活動を推進してまいります。保護者の皆様、地域や関係機関の皆様、今年度も引き続き本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

～ 目 次 ～

- ・ 校長挨拶
- ・ 新任者、着任者の挨拶
- ・ 1学期の行事予定